

デジタルアーカイブポータル

デジタル資産活用戦略会議
ウェブ情報利活用ワーキンググループ

平成17年6月15日

国立国会図書館 電子情報企画室長
植月 献二

NDLデジタルアーカイブポータル的目標

- **目的**

- 国のデジタル情報全体へのナビゲーションとしての総合的なポータルサイトの構築
 - 当館が保有するデジタルコンテンツ
 - 広くデジタルコンテンツを作成し提供する機関と協力・連携

- **目標**

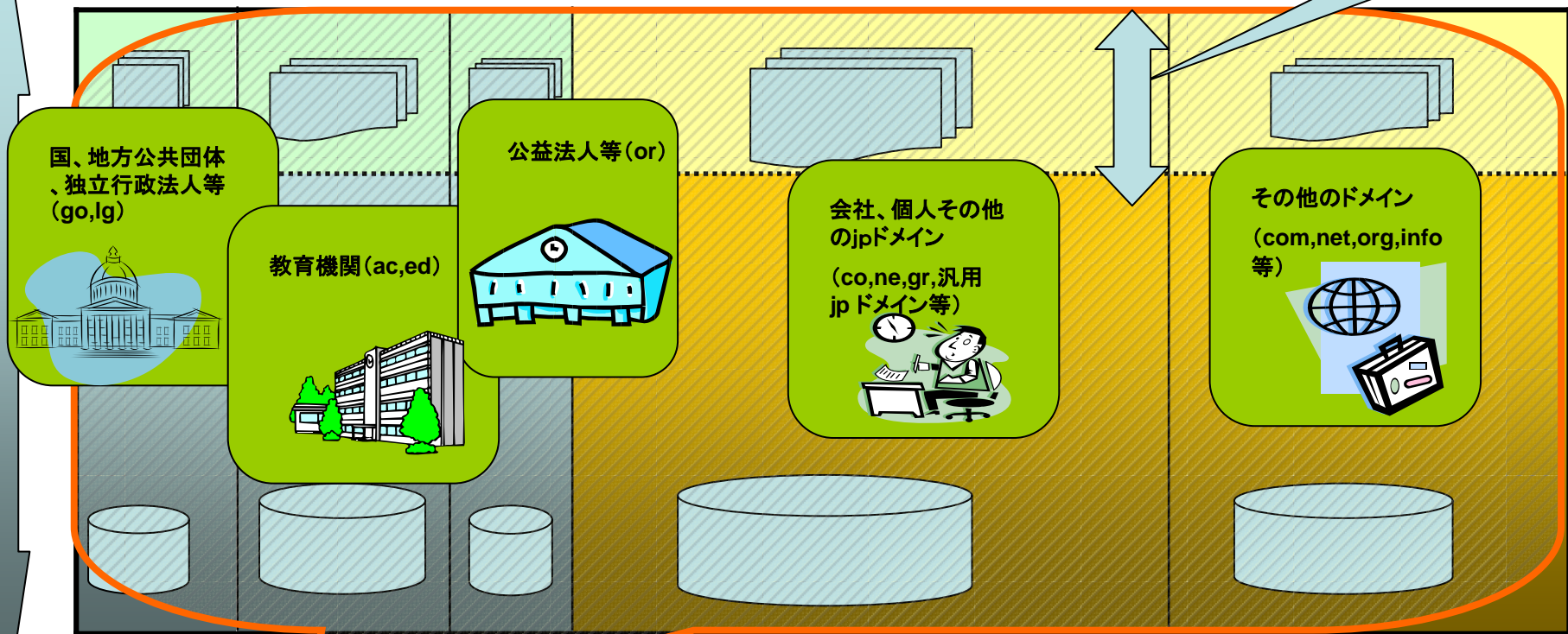
- ワンストップで的確に閲覧利用
 - 図書館の枠を越え、国、公共機関、学術研究機関に加え民間、個人が保有する情報
- 様々な利用者、利用形態でのニーズに対応
 - 主題、情報の特性、特定利用者層に応じたきめ細かなサービスを提供
 - 各専門分野のサービスプロバイダ、ポータルサイトと連携して提供
- 紙媒体等の情報資源に関しても所蔵情報へ案内
 - デジタルアーカイブに限定しない、多様な情報資源に対応

- **→コンテンツそのものの収集にも有用な技術**

何を検索できるようにしたいか？

一般の検索エンジンの守備範囲

表層



深層

☆ 個別の一次情報へ

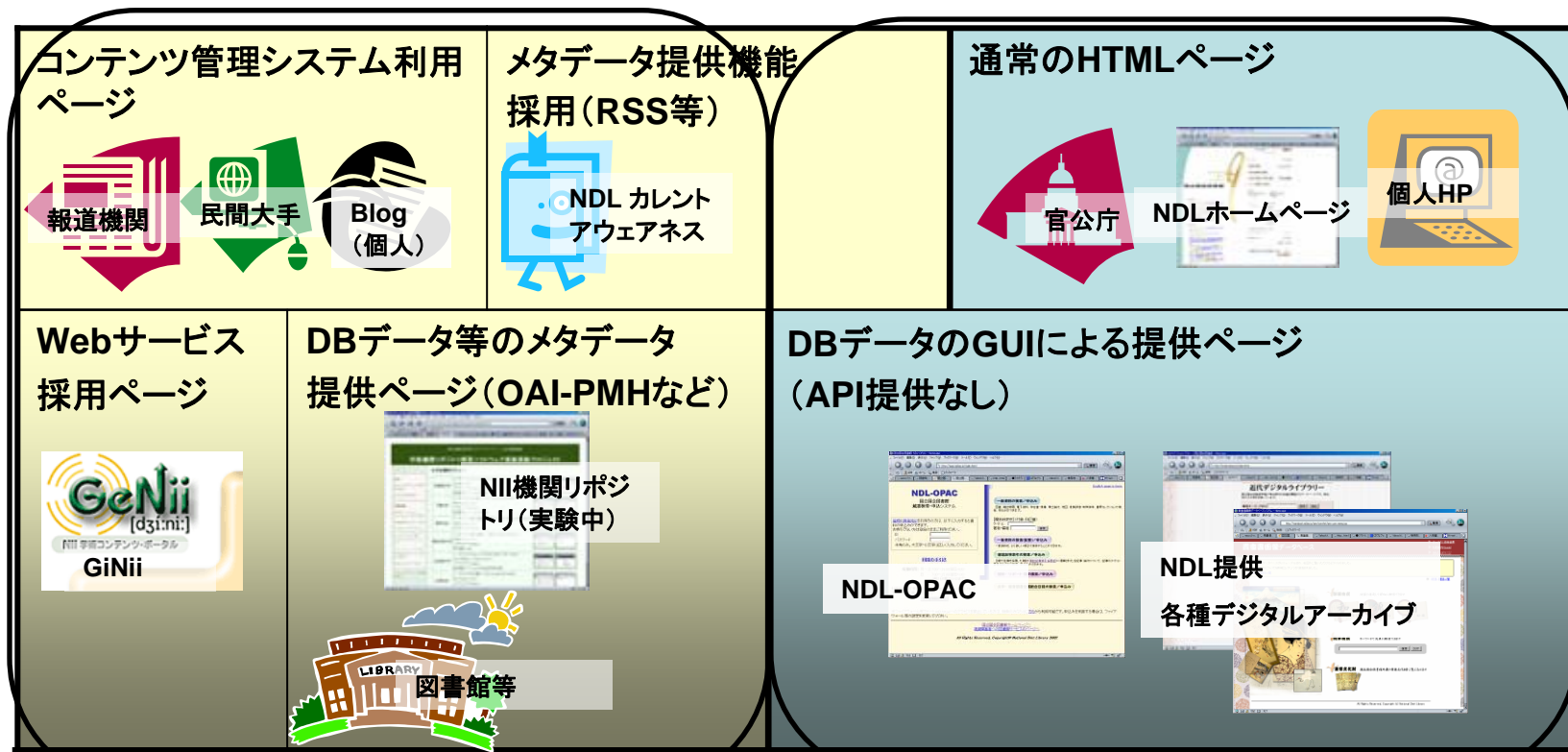
- ・深層ウェブ内の著作物
- ・表層の著作物

メタデータ収集

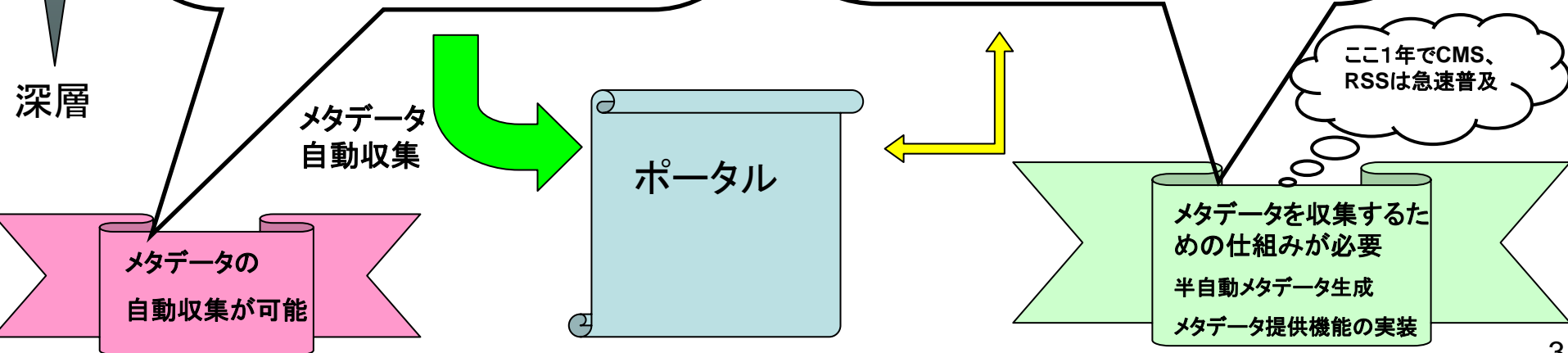
メタデータ収集が可能
なら検索も可能

～どのようにメタデータを集めるのか？～

表層



深層



ポータルとデジタルアーカイブ

デジタルアーカイブは

デジタル化された
一次情報を持つサイト

- データベース化されているかどうかではない
- 深層ウェブ
- 表層ウェブ

メタデータ
収集

ナビゲート

ポータルは

利用者の検索行動を支援

- デジタルアーカイブ内コンテンツの検索
- 探索ニーズから、検索に必要なキーワードを導出

一次情報の閲覧もしくは入手手続きへナビゲーション

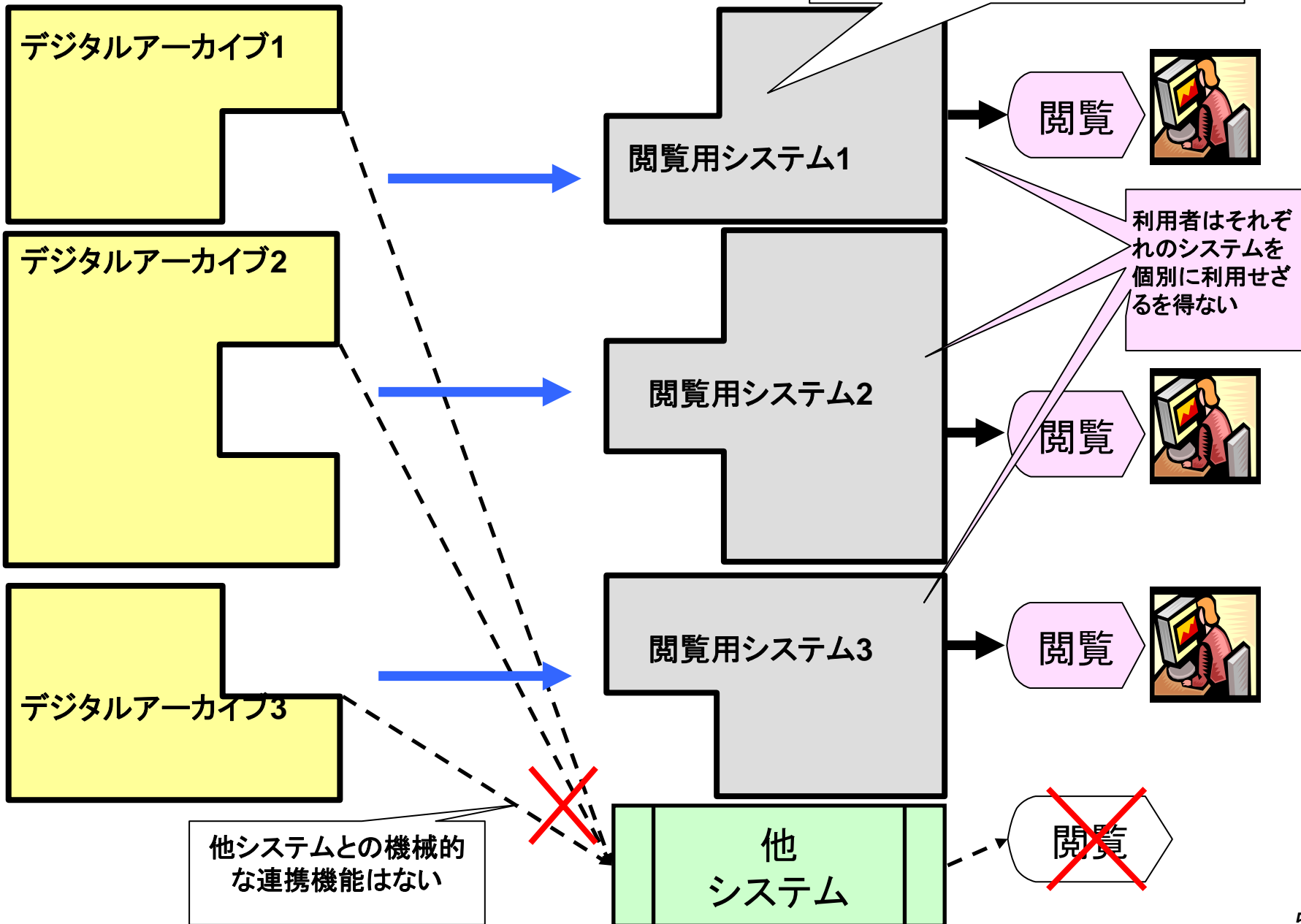
- どこかのデジタルアーカイブ内へ
- 図書館の図書、雑誌目録、雑誌索引、書店の出版目録...

個別コンテンツにナビするためには

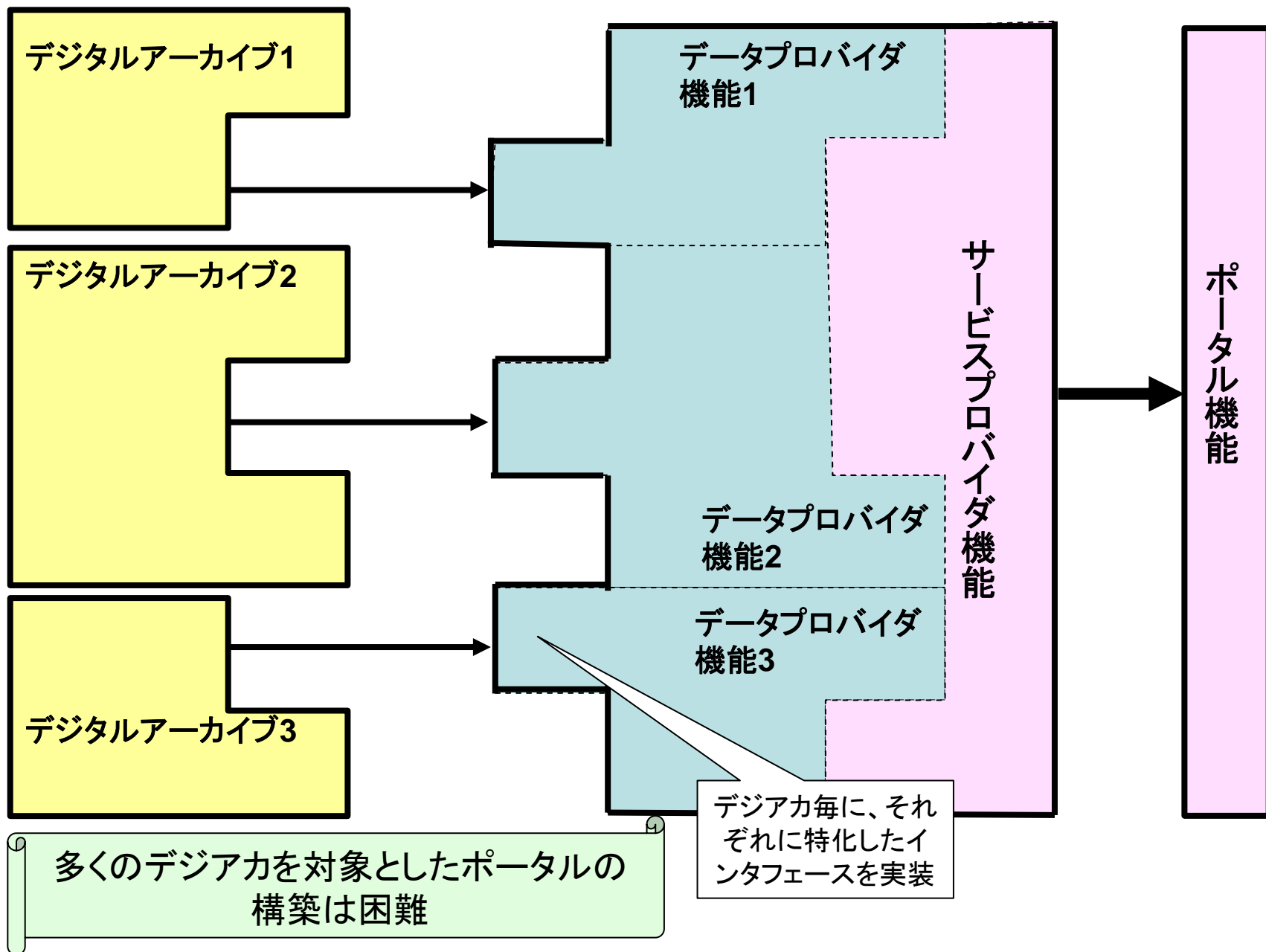
- メタデータを持っていないといけない。
→ 情報提供サイト、デジタルアーカイブから、メタデータを収集する。もしくは検索できるようにする。

～現状～

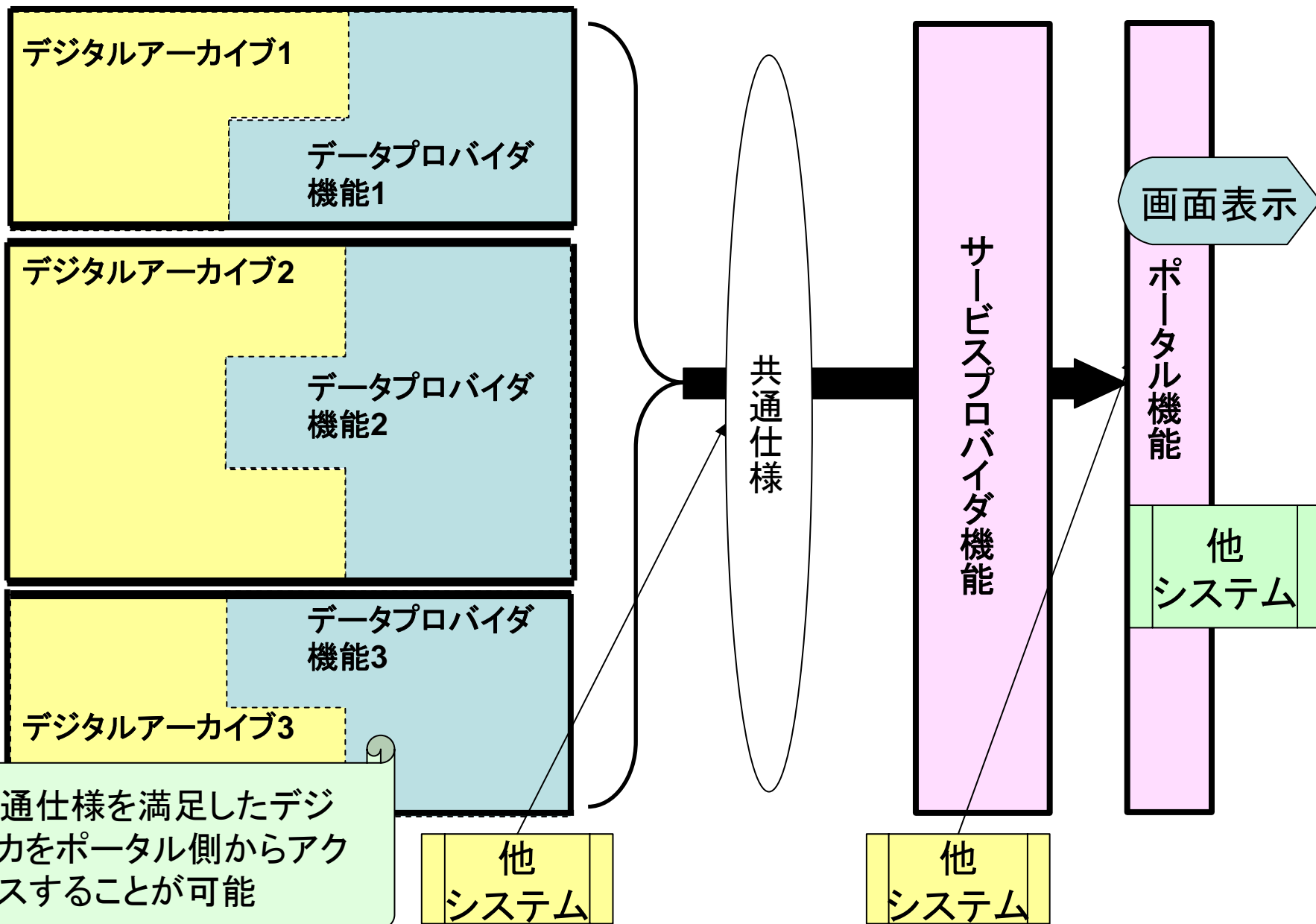
1つのデジタルアーカイブに対して1つの閲覧用システムが必要



ポータル側で個別デジアカ対応インターフェースを構築？



デジアカ側でインターフェースを構築！！



デジタルアーカイブのデータプロバイダ化

—期待されるデジタルアーカイブとサービスプロバイダとの関係—

デジタルアーカイブ

メタデータを提供可能に

- データプロバイダ化



サービスプロバイダ

データプロバイダ化されたサイトからメタデータを収集可能に

- メタデータのハーベスティング
- メタデータの横断検索
- 収集したメタデータを統合検索できるようにする
 - 検索結果から、データプロバイダへナビゲートする

データプロバイダ化とは:

他のアプリケーションシステム等のプログラムから検索・閲覧利用する機能→API(Application Programming Interface)を持つこと

APIを持つことによりWebブラウザではなく、アプリケーションプログラムが情報を受け取って、必要な加工をして閲覧することができる

ポータル成功の鍵は？

- いかにかデジタルアーカイブ内のコンテンツのメタデータを収集できるか
- 過渡期は
 - 表層にあるコンテンツはRSSにより収集
 - ごく一般のサイトで普及。むずかしいことは言わずに、実現可能？
 - RSS等の提供ができない場合は、メタデータの半自動生成ツールで生成
 - 深層にあるコンテンツはOAI-PMH、SRW(Webサービス化したZ39.50)のようなインターフェースで収集
 - OAI-PMH、SRWは業種業態を越えて普及することは困難？
 - 共通項目として、最低限シンプルダブリンコア、RSSの情報でXML Webサービス化を要請
- ウェブでのコンテンツ管理システム(CMS)の利用が進めば
 - セマンティックWeb化が自然に進む
 - 一次情報、二次情報にメタタグが付与され、機械的に意味解析が容易に
 - メタデータの自動収集が可能に
- メタデータが収集できることにより
 - メタデータのURLを、ウェブ上の著作物収集の起点として利用できる

自動登録されるデジタルアーカイブの拡大の方策

- 最低限の共通仕様の策定を推進(標準仕様の選定)
 - メタデータの作成ルール(項目及び内容記述等)
 - 最低限、シンプルダブリンコアの項目
 - 機械可読なインターフェースの共通仕様の選定
 - RSS、OAI-PMH、Webサービス等
 - 試作システムでの検証
- 共通仕様の普及啓発活動
 - 共通仕様の意義のプロモーション
 - 共通仕様の実装支援
 - 実装支援ツール類の試作及び提供
 - 共通仕様を実装したサイトのサイト登録
 - Webサービス登録システムの構築
 - 登録されたサイトの自動リンク
- 将来的な共通仕様の普及啓発活動
 - 一次情報の機械可読化(ウェブサイトのセマンティックWeb化)
 - インターネット上でのシステム連携(デジタルアーカイブのXML Webサービス化)

デジタルアーカイブポータル構築に必要な機能モジュール

